



吉中 学びのスタンダード

	時間	生徒の学習活動	教師の働きかけ
導入	開始 1分前	0 授業の準備をして、着席	0 1分前には入室完了
	開始 時刻	1 さわやかな声で「始めの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て 「あのうさぎ」の の：伸ばした背筋	1 開始時刻と同時に「始めましょう」 ※ 前時の振り返りや帯学習的な活動を行う
	5分 以内	2 課題の確認	2 学習課題 を貼り、課題を板書 ※ 導入で生徒の興味・関心をひくような提示したり、既習事項との違いを確認したりして、生徒が課題意識を高められるよう工夫する。
展開	25分 ～ 35分	3 一人で課題を追究 ※ 既習事項を振り返り、見通しを立てる ※ 考えとその根拠をノート等を書く	3 一人学び を貼り、個々に課題追究 ※ 学習課題や学習方法を選択できるようにする ※ 考える時間を確保する
		4 学び合いながら課題追究 小集団・全体での高め合い学習	4 学び合い を貼り、高め合い学習で 課題追究（小集団学習・全体学習）
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝える <ul style="list-style-type: none"> ・考えとその根拠を明確にして相手に伝える ○ 聴く <ul style="list-style-type: none"> 「あのうさぎ」の う：うなずきながら 「あのうさぎ」の さ：最後まで ・相手の考えとその根拠をしっかりと聴く ○ 話し合う <ul style="list-style-type: none"> 「あのうさぎ」の ぎ：疑問を感じて ・考えやその根拠の相違点に着目し、話し手は自分の意見が伝わるように話し、聞き手は相手の意図を考えながら聞く。 ・出てきた意見を分類しながら、互いの意見が納得できるようにする。 	○ 教師は、生徒が課題解決に主体的に取り組めるように「見通しをもつ」、「考える」、「表現する」等の活動の場の工夫していく。 <教師の働きかけの視点> ◆ 活動の目的や個の能力に応じた指導を心がける ・生徒の学びが深まるように ICT 機器を活用する ・個に応じた学習器具等の準備を行う など ◆ 自己決定の場を与える ・一人学び、考える時間を確保する ・学習課題や学習方法を選択できるようにする など ◆ 生徒が関わり合う場面の設定する ・目的や場に応じて、学習形態を工夫する ・関わり合うことに必要性を感じる課題の設定を行う など
5 本時の振り返り（解決までの思考過程や学習成果の確認）	5 学びの整理 を貼り、学習成果を確認 ○ 今日の学びについて生徒が自覚したり、次時への課題を確認したりできるように、学びの振り返りの時間を確保する。		
まとめ	あと 30秒	6 次の課題と家庭学習内容の確認	6 次の課題 を貼り、次の課題と家庭学習の確認
		7 さわやかな声で「終わりの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て 「あのうさぎ」の の：伸ばした背筋	7 終了時刻 30秒前に「終わりましょう」
家庭学習	学年別の 最低学習 時間	8 家庭学習に真剣に取り組む ※ 学年 最低学習時間（部活動のない日） 1年生 70分（90分） 2年生 80分（120分） 3年生 90分（180分）	8 家庭学習への意欲向上・動機付け ・生徒の疑問や関心を生かした家庭学習課題の設定 ・次の課題との関連性の明確化 ・家庭学習の重要性の周知
		9 終了後、明日の準備を確認	9 授業や帰りの会での準備物の周知
		10 家庭学習課題（宿題）提出	10 家庭学習課題（宿題）の取組状況を授業の中で確認